



## 健常者と障害者

### 差別ない社会へ

札幌で全国大会

9.24

各地で知的障害者の家族らがつくる「手をつなぐ育成会」の全国組織「全国手

共生社会の実現に向けて障害者らが意見を交わしたシンポジウム

をつなぐ育成会連合会」の大会が23日、札幌市中央区のかでる2・7などで始まった。約1700人が参加。相模原市の障害者施設「津久井やまゆり園」で昨年起きた殺傷事件などを踏まえ、障害者と健常者が共生できる差別のない社会づくりに向けて意見を交わした。

同連合会などが主催。分けられた人生を取り戻す」がテーマのシンポジウムには約270人が参加した。やまゆり園がある神奈川県から来た奈良崎真弓さん(39)は「二度とこんな事件が起こらないよう1度、障害者や福祉関係者で集まり命の大切さについて話し合う活動を続けている」と報告。渡島管内七飯町の四村真さん(40)は「いかなる人も地域で暮らせる社会をつくりたい」と述べた。障害者の雇用や結婚について考える分科会も開かれ、最終日の24日は障害者の権利擁護を訴える決議文の採択などを行う。

同連合会などが主催。分けられた人生を取り戻す」がテーマのシンポジウムには約270人が参加した。やまゆり園がある神奈川県から来た奈良崎真弓さん(39)は「二度とこんな事件が起こらないよう1度、障害者や福祉関係者で集まり命の大切さについて話し合う活動を続けている」と報告。渡島管内七飯町の四